

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	県内地下水のデータの可視化に関する研究
発表学会名	令和7年度日本水環境学会中部支部研究発表会
発表者名	柴田 祐子（環境部）
開催場所	福井県国際交流会館 B1F ホワイエ（福井県福井市）
発表日時	令和7年11月28日（金）12：30～14：00
発表内容	本県では地下水質の常時監視を実施し、得られた結果は年次報告書として取りまとめ、公表するとともにデータとして蓄積してきた。しかし、この各調査井戸の位置や測定値は貴重なものであるが、多量かつ表形式であるため、面的な広がりをもつ地下水汚染解析等への活用には煩雑さが伴い、これまで地下水業務関係機関における利用が進み難い状況にあった。また、地下水汚染は人為的なものだけでなく、自然的な要因があり、汚染源調査において特定の人為汚染源が認められない場合は自然的要因が想定されるものの、確定には科学的根拠に乏しいことが多い。そこで我々は、これまでの調査で蓄えた県内地下水質データを地図上に可視化し、関係機関が閲覧・二次利用できるシステムを構築し、併せて自然由来汚染の関連情報（地下水位や地質等）を重ね合わせることで、汚染と関連情報の関係性や地域性を検討・評価できる「地下水情報システム」を構築することを目指している。今回、構築中のシステムを利用し、地下水質情報（キーダイヤグラムによる水質組成分類結果）を可視化したところ、県内における地下水の水質組成の分布状況を面的に評価することができた。一方で、より詳しい地域性の解析には情報の追加が必要であることが判明したことを報告した。